下水道管路施設ストックマネジメント実施設計業務委託（８－２）
質問書に対する回答

福 山 市 上 下 水 道 局
（工 務 部 管 路 整 備 課）

番 号	質 問 項 目	回 答
1	地盤高、管底高、管渠延長等は、調査済みの資料もしくは既存の台帳の数値を採用すればよろしいでしょうか。既設管調査測量は不要と考えてよろしいでしょうか。	既設管の測量調査は必要です。
2	人孔形状、壁厚等は、調査済みの資料もしくは標準図、竣工図、完成図書等を使用して設計を行えばよろしいでしょうか。現地測量は不要と考えてよろしいでしょうか。	既設マンホールの現地測量は必要です。
3	本業務は管渠と人孔の更生業務のため、標準仕様書に記載の地下埋資料の収集は不要と考えてよろしいでしょうか。	本業務においては、地下埋資料の収集は不要です。
4	公私道調査は不要と考えてよろしいでしょうか。	本業務においては、公私道調査は不要です。
5	標準仕様書に「既設マンホール強度の照査」が記載されていますが、更生後の計算（強度照査）のみでよろしいでしょうか。	本業務においては、既設マンホール強度の照査は不要です。
6	3月末となっていますが、調査会社他に遅れが生じることが想定されます。その場合、繰り越しは可能でしょうか。	契約約款に基づき、必要があると認められる場合は履行期間の延長を協議することは可能です。
7	マンホール更生工法について、マンホールの形状・寸法は計測されていますでしょうか。	マンホールの形状・寸法は計測していません。これらの測量調査は本業務に含まれます。

8	履行期間は令和9年3月31日となっていますが、天候等により管内調査に不測の調査日数が必要となった場合等、工期延伸についての協議は可能でしょうか。	契約約款に基づき、必要があると認められる場合は履行期間の延長を協議することは可能です。
9	管更生は、推進用HPφ500:1スパン、推進用HPφ1000：1スパン、推進用HPφ1100：2スパンが対象のようですが腐食劣化調査は、人が入れる推進用HP1000と推進用HP1100の計3スパンを対象とされていますか。	お見込みの通りです。
10	管渠に対する腐食劣化調査は、中性化試験工：6測点、鉄筋腐食試験工：6測点、圧縮強度試験工の：6測点となっていますが、人が入れる管渠3スパンを腐食劣化調査の対象とし、1スパンに対して上流側1測点と下流側1測点の計2測点を想定されていますか。	お見込みの通りです。
11	管渠の圧縮強度試験工ですが、HP1000～1100の管渠に対して、小径コア採取（ソフトコア）による圧縮試験を想定されていますか。それともシュミットハンマ等の圧縮強度測定器による試験を想定されていますか。	圧縮強度測定器による試験を想定しています。